

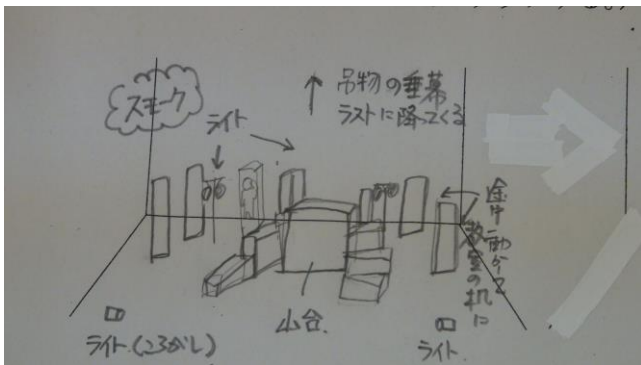
岐阜県立大垣商業高等学校

グッドラック

作：大垣商業高校演劇部

◇概要◇

「18歳ってもう大人だっけ？」舞台は商業高校。就職するために私たちは集まった。先生たちからのスパルタ授業にもくらくつくぜ!!...でもこんな疑問が頭をよぎった。大人なのか、子供なのか。どっちに転んでもおかしくないのが18歳。混乱して、絶望して、真っ白になった。美術部5人を中心にお届けする、さわがしい日常。「ああもう!どちらかはっきりさせろ!!」



◇メッセージカードより◇

- ・51年前の高校3年生卒業前の気持ちよりもずいぶん大人なんだと演劇を通して分かりました。
- ・リズムカルな授業がすごく面白かったです。同じ商業高校として検定など分かることが多くて、見ていて楽しかったです。
- ・みなさん笑顔がまぶしかったです。テンポよくボケたりツッコミを入れるのは相当練習したんだろうなと思いました。
- ・題材が就活にいそしむ高校3年生を書いたものだったので、高校生でありながら就活に追われる大変さと忙しさ、目まぐるしさがよく分かりました。
- ・私の学校では進学するのですが商業系の学校がどのようなものか知れて面白かったです。最後の「18歳だもの」のシーンが個人的には好きです。

◇楽屋インタビュー◇

Q1. 何故このテーマで脚本を書こうと思ったのですか？

A. 商業高校なので就職率が高く、3年生は来年には働くことになります。高校生を卒業し、大人の姿になる心境をたくさんの人に見て欲しかったからです。

Q2. 一番力を入れたシーンはどこですか？

A. 授業のシーンです。集団行動でそろえるのが大変でした。

Q3. 集団行動で整列しているのに意味はありますか？

A. 商業や会社のイメージが集団行動だったからです。バラバラになったらダメなのでしっかりと揃えて規律を乱さないという事を表しました。

Q4. 演出面でこだわった点は何ですか？

A. 動きだけではなく、表情を一番こだわりました。全員に変顔をさせるレベルで頑張りました。

Q5. 観客を笑わせるために工夫した点は何ですか？

A. みんなで話し合いながらネタを持ちこみ合ってギャグシーンを作りました。



【速報担当】 齊藤まど佳 安野心詞 (羽水)

※ 岐阜県立大垣商業高等学校のみなさん お疲れ様でした!!